

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスう・さ・ぎLABO

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和6年

12月

20日

法人（事業所）理念		子ども達的意思及び人格を尊重し、子どもや保護者の立場に立ち、「楽しく関わり、楽しく過ごす」事を目指します。							
支援方針		*一人一人の子ども達が、事業所で伸び伸びと過ごし、活動や課題を積み重ねながら、子ども達の強みを見つけ支援します。 *子ども達一人一人の発達の状態や特性に寄り添いながら、小集団の中で、楽しく遊びや活動に取り組めるよう環境を整え、積極的に物事に取り組めるよう支援します。							
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	（要相談）
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	*衛生習慣や身辺自立等を年齢に合わせて支援します。 *クッキングをする楽しさや食べる事の楽しさ等、食育について支援します。 （トイレトレーニング、紐の結び方、ボタンの着脱、チャックの開閉等基本技能の習得、クッキング）							
	運動・感覚	*体力向上の運動活動を支援します。 *日常生活に必要な運動の基礎となる姿勢保持や上肢・下肢の運動を支援します。 *体幹を鍛え筋力の維持・強化を支援します。 （サーキット、大縄、ジャンプ、風船バレー、体操、ダンス他。戸外遊び。視覚・聴覚・触覚を刺激するようなゲームやクイズ。体操・ダンス）							
	認知・行動	*自己コントロールや自己規制が出来るよう支援します。 *空間・時間・数等概念形成の習得を支援します。 *外部環境の適切な認知と行動の習得を支援します。 （ビジョントレーニング、ブロックを使った創作活動<数と空間の習得>、音楽やリズムを使って五感を刺激する活動、始まりの会で日にち・時間を確認、視覚支援で正しい行動の習得）							
	言語 コミュニケーション	*自分の気持ちを表現する力を育てます。 *活動を通し、お友達同士のコミュニケーションを楽しみます。 *言語を受容し表出する支援をします。 （言葉を用いたゲーム、生活の中で起こる事柄に対するロールプレイ、質問に答えたり発表する機会を設ける、自由遊びを設定<自分の思いを伝えたり、伝わった喜びを感じるように支援する>）							
	人間関係 社会性	*協力して物事を達成する力を育てます。 *他者との関係構築や共同作業能力・協力関係が出来る力を養います。 （集団活動<製作・運動・音楽>、ごっこ遊び、戸外遊び、イベント）							
家族支援		*半年に1回のモニタリングで、今後どのような支援をさせていただくかをお伝えします。 *日々送迎時など必要に応じて、子どもの状況をお話したり写真を送信したり、情報を共有します。			移行支援		*必要に応じて、保護者の方の意向を伺いながら、子どもが在籍する園と日々の状況を共有します。		
地域支援・地域連携		*地域の公共施設や公園を利用し、地域資源を活用しています。 *関係機関で役割分担しながら、それぞれの機関で得られた情報を共有し支援に活かします。			職員の質の向上		*毎月ミーティングを行い、子どもの状況について話し合い意見を出しあって支援方法を学んでいます。 *毎月ミーティングと共に、虐待や身体拘束、感染症、BCP等の内部研修を文献など参考にしながら取り組んでいます。 *外部の研修には出来るだけ参加を推奨しています。		
主な行事等		①戸外活動（散歩、公園遊び） ②社会体験（避難訓練<防災センター>、子ども食堂参加、トウモロコシ狩り、水族館、動物園、コンサート、サントリー・キッコーマン等見学） ③季節行事（水遊び、プラネタリウム、ハロウィン、クリスマス会、バイクサンタ<8月、12月>） ④食育活動（クッキー作り、おにぎり作り、ホットケーキ作り等） ⑤その他（ボランティアの方のイベント→バルーンアート、腹話術等）							

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスう・さ・ぎLABO

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和6年

12月

20日

法人（事業所）理念		子ども達の意思及び人格を尊重し、子どもや保護者の立場に立ち、「楽しく課題や活動に取り組み、楽しく過ごす」事を目指します。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> *一人一人の子ども達が、事業所で伸び伸びと過ごし、活動や課題を積み重ねながら、子ども達の強みを見つけ支援します。 *子ども達一人一人の発達の状態や特性に寄り添いながら、小集団の中で、楽しく活動や課題に取り組めるよう環境を整え、積極的に物事に取り組めるよう支援します。 						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> *健康な心と体を育て自ら安全な生活をつくる支援をします。 *生活リズムやスケジュールを考えて実行できる支援をします。 *食に関して興味を持ちクッキングする楽しさや食べる事等、食育について支援します。 （クッキング、荷物の整理整頓・衣服の調整、車の乗り方・安全な歩き方、他人との距離感を学ぶ、時間に応じた行動の切り替えを学ぶ）						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> *体を使い、姿勢の保持や動作の習得を支援します。 *ビジョンを取り入れた運動を行い体幹を整えます。 *保有する感覚の総合的な支援をします。 （体操、ダンス、風船バレー、ドッチボール、マット運動、縄跳び、サーキット等ビジョンを取り入れた運動、視覚や聴覚・触覚を刺激するようなゲームやクイズ、戸外遊び、歌や楽器を使って感覚を身につける）						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> *柔軟な考え方や必要な自分の情報を集めて理解できる支援をします。 *空間・時間・数等の概念形成を習得します。 *感じた事や考えた事を平面や立体に表現する力や自由な発想力を身につけます。 （絵画製作、クッキング＜パン作り、クッキー作り、ホットケーキ・カレー作り他＞、ビジョントレーニング）						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> *子どもが意見を出しやすい環境を整え、意思伝達方法を身につける支援をします。 *言語の受容及び表出を習得します。 （伝言ゲームや早口言葉を用いたゲーム、生活の中で起こる事柄に対するロールプレイング、遊びの中で友達とのやり取り、絵カードやかかるた・絵本の読み聞かせ）						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> *信頼関係の構築や集団の中で何をすることを明確にし、社会性が身に付くよう支援をします。 *安全な社会生活を送る為に、様々な経験が出来る機会を設けます。 （集団活動・社会見学・季節の行事へ参加、自己の理解とコントロール、集団に参加するための順序やルールの理解）						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> *半年に1回のモニタリングで、今後どのような支援をさせていただくかをお伝えします。 *日々送迎時など必要に応じて、子どもの状況をお話したり写真を送信したり、情報を共有します。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> *必要に応じて、保護者の方の意向を伺いながら、子どもが在籍する学校と日々の状況を共有します。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> *地域の公共施設や公園を利用し、地域資源を活用しています。 *関係機関で役割分担しながら、それぞれの機関で得られた情報を共有し支援に活かします。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> *毎月ミーティングを行い、子どもの状況について話し合い意見を出しあって支援方法を学んでいます。 *毎月ミーティングと共に、虐待や身体拘束、感染症、BCP等の内部研修を文献など参考にしながら取り組んでいます。 *外部の研修には出来るだけ参加を推奨しています。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ①戸外活動（散歩、公園遊び） ②社会体験（避難訓練＜防災センター＞、子ども食堂参加、トウモロコシ狩り、水族館、動物園、コンサート、サントリー・キッコーマン等見学） ③季節行事（水遊び、プラネタリウム、ハロウィン、クリスマス会、パイクサンタ＜8月、12月＞） ④食育活動（クッキー作り、お弁当作り、カレー作り、ホットケーキ作り、パン作り等） ⑤その他（ボランティアの方のイベント→マジックショー、バルーンアート、腹話術等） 						